

おのっこ ほたりん

児童数 7月7日 現在431名 校長 大住 奈留美



6月29日「こころ・人権の日」授業参観

福岡県下、熱中症アラート発令される中、7月の同和問題啓発強調月間に先駆け、この日全学年で人権課題を考える授業参観を実施しました。暑い中での多数の参観、ありがとうございました。

1年生

「ふわふわことば ちくちくことば」
(古賀市『いのちのノート』)

日常生活のふわふわ言葉やちくちく言葉を出し、どのような気持ちになるのか、日常生活が送りがやすくなるにはどちらを増やしたらいいか、体験的に考えました。



4年生「車いすのおじさん」

車椅子に乗ったおじさんに出会った主人公が、おじさんを助けることができた行動のよさについて考えました。



2年生

「黄色のキャンディー」
(古賀市『いのちのノート』)

4色のキャンディーの分け方から登場人物の考え方について話し合い、色に関する男女の先入観について考えました。



5年生「温かい手」 (古賀市『いのちのノート』)

コロナウィルス感染症対策にたずさわる医療従事者への、偏見や差別を生まない考え方について、考えました。



3年生「清そうの仕事」 (古賀市『いのちのノート』)

清掃の仕事をする事で、悪口を言われたり辛い思いをしたりしても、仕事を続ける心について考えました。



6年生「思い出のクラス写真」 (古賀市『いのちのノート』)

コロナ濃厚接触者である主人公に対する友だちの反応の変化から、望ましい人間関係をどう築いたらいいか考えました。本校主幹が開発した教材で、市内で使用されています。

これまでの子どもたちの生活の課題から、日々学年で協議を重ね、児童がより主体的に人権について考えることができるように、発達段階や学級の実態に応じて展開を工夫しました。子どもの心にある価値観をどのように問い直すか。子どもたちの主体的な学びになるように、どこまでを、どのように、支援するか。本年度、本校職員はどの授業においてもことさら意識し対話を重ね、葛藤し続けています。

社会のつなぎ

「魔法つかいになりたいなあ」

お母さんの手が動いている/「なにやってたの?」って聞いてみた/答えは「手話」だった/
私も覚えたいと思った/お母さんと一緒に勉強した/覚えた手話で、勉強している人と話した/
私の手話が伝わった/とてもうれしかった/もっと覚えたい/もっと自分の気持ちを伝えたい/
私はそう思った/手話ってなに?/それは手で考えや思いを伝える言葉/どんなに音が大きくても会話ができる/魔法のような言葉/私も魔法つかいになりたいな/そして魔法つかいがふえていくといいなあ 小野小学校 5年 一木 凰花 さん 西部ガス詩集「地球のつぶやき」掲載



玄関と保健室のお花は、いつもお花を届けてくださる6年生のご家庭から。参観日に華(花)を添えていただきました。

いじめ防止等の基本方針

小野小のいじめの問題に対する考え方は4月号に掲載しておりますが、人権について改めて考える時期にあって、また学級に慣れ、状況が変化している今、再度いじめ防止等の基本方針を掲載いたします。

- 「いじめ防止対策推進法」(平成25年6月28日施行)においては、「いじめ」を「学校に在籍している児童と一定の人間関係にある他の児童等が、心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と定義。
- わたしたち小野小学校教職員は、いじめられた側に立って考えます。
 - わたしたち小野小学校教職員は、いじめは、どの子どもでも、どの学校でも、起こると考えます。
 - わたしたち小野小学校教職員は、いじめは、決して許されないと考えます。
 - わたしたち小野小学校教職員は、いじめを未然に防止するために、広く社会全体と連携して取り組みたいと考えます。
 - 心理的又は物理的な影響があると思われる行為を受けているにもかかわらず、心身の苦痛を感じない者等がいることを理解し、適切に対応します。
 - インターネットや携帯電話を利用したいじめに対して適切に対応します。
 - いじめを含むすべての生徒指導については、個別の発達段階と将来生きて働く力の育成を鑑み、子どもがその事象をどうとらえ、どのように解決していこうとしているのかを見据え、そこに教師がどのように支援をするのかを基本方針とします。

夏の面談は、縦と横の話をさせてください

お子さんには、これまでの「生育の時間軸」という、ご家庭の縦軸があって、「学校という枠ぐみの社会」の横軸で、人間の関係性と視野を広げているところです。

ただ、それぞれのお子さんの生育歴は違いますし、学校の集団生活で起こる事象についての理解や、友だちとの関係性を認知(理解する心の動き)する広さや深さも、それぞれ違いが出てきます。



学校・教員は、保護者の方から一部教育権を負託されています(硬い言い方ですが)。

しかし、発達段階からも、どうしても学校だけでは上手くいかないことも出てきます。子どもさんを中核に据え、連携し共働しながら子どもさんの育ちを支えていくことが肝要と考えています。

特に、家庭訪問が夏の面談に置き替わった現在の状況下、是非ともこの大切な機会に、ご家庭ではこれまで、どのようにお育てになってきたのか、歴史があったのか、いろいろお聞かせください。その上で、お子さんが「学校社会」という横軸で、今何を学ぼうとしているのか、何を認知できているのか、職員からもお話させていただきたいと思えます。

学校でのお子様の葛藤や努力を褒めていただきたいですし、認知(理解する心の働き)について周囲との段差があって、少ししんどいようなら、ご家庭での支援もお願いしたいと思えます。ご家庭でのご支援をヒントに、職員もより効果的な支援を探りたいとも思っています。

もしかしたら、耳障りのよいお話だけではないかもしれませんが、社会的な自立に向けてお子さんが越えて行く道に必要な事柄なら、敢えて避けずにお話したいと思っています。

職員一同、お子さんの「今」に真摯に向き合って面談させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

7・8月の主な行事

- 7月 1日(金) 安全の日
家庭学習がんばり週間(~7日)
- 7月 8日(金) 租税教室(6年生)
- 7月14日(木) クラブ活動
- 7月15日(金) 大そうじ
- 7月18日(月) 海の日
- 7月20日(水) 前期前半終わりの会
着衣泳指導(4, 6年生)
- 7月21日(木) サマーチャレンジ(~22日)

7月25日、28日、29日 個人懇談

8月22日(月) 前期後半始まりの会

8月25日(木) 給食開始(全学年)

小野小学校では基本的に水曜日を職員の定時退校日としております。ご理解・ご協力をお願いいたします。



NHK総合「ロクいち!福岡」8日(金) 18時10分~
ジェンダー(社会的・文化的につくられる性別)をテーマに編集されています。個々の能力が活かされ、安全で安心して暮らせる社会を作っていくことは世界共通の課題。18時30分頃の予定。

